

- その他の質問事項
- ・認知症対策について
 - ・成年後見制度について
 - ・インフルエンザ予防接種について
 - ・図書館行政について

山田 きよし 議員
(緑風会)

○地域のたから(児童)の安全について

問市内に点在する空き家の一つに、国道沿いの長尾地先交差点付近に非常に危険な状態の建物がある。たから(児童)の行事開催の際、落下物を避ける為、飛び出しによる死亡事故も危惧されており、撤去等の安全対策が必要と考えるが、見解を伺う。

答長尾地先の空き家についての対応は、所管行政庁である県と連携し、建物の所有者に対し、これまでも再三、文書通知や訪問などにより、危険箇所の対応について依頼してきた。しかしながら、所有者に改善の意思が見られないことから苦慮している状況である。なお、県ではバリエードを設置し、通行人等への周知を図っているところである

が、今後とも、危険要因の解消に向け、粘り強く交渉していきたい。



○災害ボランティアセンターの設置、課題について

問昨年の台風26号による被害で、本市において初の災害ボランティアセンターが設置された。立ち上げまでに時間を要したようであるが、その理由は。この教訓を活かし、今後のことを踏まえ、市と社会福祉協議会とで大災害発生時の災害協定締結の考えは。

答災害ボランティアセンターの設置については、災害発生時、茂原市社会福祉協議会が策定中であるボランティアセンター運営マニュアルの素案に基づき設置していた。災害発生の翌日には災害ボランティアセンターを設置し、ボランティア募集、ニ-

ズ調査、現場での活動と、迅速かつ適切な対応を行っていただいたものと考えている。災害協定については、その必要性も含め、茂原市社会福祉協議会と協議し、検討していきたい。

- その他の質問事項
- ・水害検証の進捗状況について
 - ・二次避難所を開設・運営できる組織について
 - ・阿久川の現状と整備について
 - ・災害時要援護者の対策について

竹本 正明 議員
(政明クラブ)

○新年度予算における新規事業の内容について

問今、人口減少や少子高齢化は国や地方の喫緊の問題であり、茂原市も例外ではない。新年度予算に、これらの状況改善に対応した新事業を予算化した様だが、その事業は何か。また、他の新規事業の内容は何か。併せて新規事業の総額は。

答平成26年度予算に計上した新規事業は、水害対策、子育て支援、小中学校天井等落下防止工事設計業務委託、図書館の管理運営・移転事業、

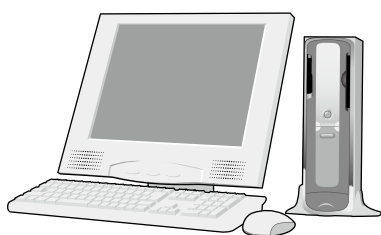
消費税増税に伴う低所得者や子育て世帯に対する臨時福祉給付金など、計36事業で総額約11億3300万円である。人口減少問題対策に関して、プロジェクトチームから提案のあった21事業のうち、子ども医療費の助成、おむつ用ゴミ袋の無料配布、ウェブサイトの再構築の3事業を予算計上したところである。

○庁内パソコンのOS期限切れ対策について

問今や行政事務の遂行にパソコンは欠かせない。4月でマイクロソフト社の基本ソフトであるウィンドウズXPのサポートが期限切れとなるが、その対策は。使用台数の全容は。戸籍、住民票、税金等の個人情報保護対策は万全か。

答本市で保有しているパソコンは745台であり、そのうち使用しているOSがウィンドウズXPであるものが370台ある。サイバー攻撃への対策については、コンピュータウイルスの感染を防ぐセキュリティソフトや外部インターネット回線からの不正侵入を防ぐファイアー

ウォールにより対策を講じている。個人情報のセキュリティ対策については、税や戸籍などの個人情報を扱う基幹システムを使用する場合には、個々の職員に与えられたユーザーID及びパスワードを電源投入時とシステム使用時に入力するよう設定しており、そのID及びパスワードは厳重に管理するよう義務付けている。また、職員による不正使用に対する抑止力として、どの職員が、いつ、どのような情報にアクセスしたかが分かるよう、その情報へのアクセス履歴を記録している。



- その他の質問事項
- ・台風等の事前情報の収集について
 - ・防災情報提供者の委嘱配置について
 - ・要望提案の取り組みについて